

2020年7月6日（月）

HTB 北海道 on デマンドでチャリティーキャンペーン 「WHO のための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」等に寄付

HTB 北海道テレビでは、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、自社運営のビデオオンデマンドサービス「HTB 北海道 on デマンド」でチャリティーキャンペーンを実施し、配信経費を除いた利益の全額、3,091,420 円を新型コロナウイルス対策への支援を行う国際団体や子どもたちを支える募金活動団体に寄付いたしました。実施にあたったコンテンツビジネス局では、「スタートは『ステイホームの環境で、多くの人に楽しみやすい企画を』という番組ディレクターたちからの発案でしたが、緊急事態宣言下で医療現場が置かれた厳しい状況を踏まえ、国際的なワクチン開発や医療資源の支援、また国内で新型コロナウイルスと闘う医療従事者やそのご家族、また、ストレスを抱えている子どもたちへも支援を広げたいとの思いから今回の企画にたどり着きました。まだ難しい局面は続いていますが、今回の企画にご賛同いただいた視聴者の皆さまに感謝いたします」と話しています。HTB は、今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止のための放送を充実させるとともに、経済活動で被害を受けた道内自治体や医療従事者らの支援活動に努めてまいります。

【寄付先】

公益財団法人国際交流センター運営

「WHO のための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」

*同基金は、WHO（世界保健機関）によるこの感染症との闘いに民間の寄付を集めるため、アメリカの国連財団とスイス慈善財団が WHO の要請を受けて設置したもので、日本では同センターが日本国内からの寄付の窓口になっている。

<http://covid19responsefund.jcie.or.jp/>

<http://covid19responsefund.jcie.or.jp/supporters/>

社会福祉法人中央共同募金会運営

「赤い羽根 臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援募金」

https://www.akaihane.or.jp/kikin/ringi_202003/

【HTB 北海道 on デマンド チャリティーキャンペーン】

「みなさん、ご機嫌いかがですか。こちら、水曜どうでしょうでございます！」

5月1日から28日までの4週間、自社制作の人気バラエティ番組『水曜どうでしょう』シリーズをまとめた4パック（計45話）を各330円（税込）にて期間限定で販売。のべ1万4,000人が視聴。

このリリースに関するお問い合わせ
HTB コンテンツビジネス局 地口
011-205-7664